

## 保護者・ご家族の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。

2026年(令和8年),初日の出とともに希望に満ちた新しい年をご家族皆様でお迎えのこととお喜び申し上げます。また、皆様方には、多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに改めて心より感謝申し上げます。

本日より、市内の園・小・中・義務教育学校で授業が始まりました。10月以降、インフルエンザが流行し始め、例年ない広がりを見せました。また、クマの出没が相次ぎ、大崎市でも「クマ被害対策本部」を設置し、全市民の安全・安心に向けて対応してまいりました。そのような中でも皆様方のご協力のおかげで、運動会や学習発表会等の各行事も順調に実施することができ、子供たち一人一人がそれぞれの良さを發揮し、思い出多いものになりましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、今年の干支の丙午(ひのえ うま)は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」と言われています。そこで私は新年を迎えるにあたり、「今年の漢字一文字」を「駆」といたしました。一人一人のエネルギーを「力」に変え、みんなが結集して、ひとつの「車」を動かす「四輪駆動」をイメージしました。

子供たちを取り巻く教育環境も大きく変化しております。ICTの進化や、家族の関係、そして地域コミュニティが変化する中で、子供たちの成長を確認しながら、私たち大人もしっかり考えていかなければなりません。子供たちは、学校(園)だけで育つのではなく、家庭・地域が一体となってこそ、大きく輝きます。学校(園)と家庭・地域の「結びつき」をさらに深め、子供たちのより良い成長につながるよう、まさに「子供・学校(園)・家庭・地域」の四輪駆動により、それぞれのエネルギーを力に変え、「家庭・地域とともにある学校(園)」を目指してまいります。



また、学校(園)では、「分かる・できる」という喜びを味わわせる授業づくりに努めながら、充実感のある教育活動を工夫してまいります。子供たちの成長を喜び、良さを認め励まし合い、未来へつながる学校(園)づくりを全力で進めてまいります。保護者やご家族の方々には学校(園)の良き応援団になっていただき、これからも子供たちの成長を支えていただきますようよろしくお願いいいたします。

令和8年1月8日  
教育長 熊野 充利